第24回全国大会へ参集せよ

東京・読売ランド

未来へ向かって前進！

行動する友愛へ再出発

二五周年への基礎づくりの大会

第二四回全国大会は来たる四月二六日（土）・二七日（日）の二日間にわたって、新緑の東京・読売ランドにおいて開催される。本大会は来年度の第二三回全国大会へ向けての重要な運動の路線を決定するものであるから、各支部、各役員の積極的な参加が望まれる。（主要参照）

今大会の最大のポイントは以下の二点である。

第一点は、第二三回全国大会で決定された、「友愛のある街をつくる運動」は現在、各県連、各支部、各地域で力強く展開されているが、本年度は三ヶ年計画の二ヶ年目に突入するのであるから、さらに「友愛のある街をつくる運動」を地域社会に密接に定着するように動きかけなくてはならないのである。したがって、この運動の主旨をよく理解された活動をしなければならないから参加者は本大会において真剣に議論された程である。

第二点は、来年度に二三周年を控えており、さらに友愛運動を全国各地に拡大するためにも一段と内容の濃い充実した論議が望まれる。その具体的な運動方針、事業計画、組織活動方針等を審議する重要な大会とするために参加者各位の責任の重なることを認識されたい。

以下は大会規定、およびその日程である。

一、名称　第二四回友愛青年連盟全国大会
一、期日　別表参照
一、会場　読売ランド学生ホテル
（東京都稲城市矢野口　三一九四　TEL　〇四四一九六六一二一一三）
一、議題
①　本部提出議題案
第1号議題　昭和五二年度運動方針について
／第2号議題　昭和五二年度事業計画について／第3号議題　昭和五三年度予算について／第四号議題　昭和五二年度組織活動方針について／第五号議題　昭和五二年度役員選出について／第6号議題　友愛二三周年特別事業について／第七号議題　大会宣言について
②　地方提出議題案
③　代議員提出議題案

再生友愛の第一歩

友愛運動が四分の一世紀もの長い年月を経過しようとしている今、内外から新らしい運動を求める声が一段と高まって来ている。それは高度経済成長から安定成長へ、物質文化から精神文化へ、さらに政治面における保守単独政権の崩壊ないし退陣といっためまぐるしい今日の社会情況の中で、友愛運動はどう対応しようとしているのかというわれわれに対する社会の厳しい問いかけである。

われわれは、この社会の問いかけを真摯に受けとめなければならない。そしてこの二四回大会を契機に、過去の歴史をふりかえり正確な評価と反省を行ない、来年の二五周年を当面の目標時期として再生友愛へ向けての具体的な方策を打ち出し、早急に実行に移して行く時であると思う。

伝統と社会教育の評価

本連盟は、戦後の経済復興が軌道に乗りかかって来た昭和二十八年、故鳩山一郎先生の提唱のもとに参じた青年が結集し、友愛主義による社会改革の旗を掲げた。それから今日までの二四年間、財政難をはじめ組織の伸び悩みや様々な社会的圧力などその時代・時代の風雪にめげず力強く耐え抜いて来た。われわれはこの二四年の伝統と友愛の火を絶やすことのなかった先輩諸氏の情熱に勇気づけられ、さそられているとことを改めて感じさせられる。さらに友愛山荘建設運動や青年の国際交流活動などほいち早く時代に先駆け各・民を問わず社会教育の面に大きな功績を残し、また政・財界などのあらゆる分野に多くの人材を輩出しているなど有形、無形を問わず本連盟に対する社会的評価は極めて高い。

しかしその反面、運動が社会教育の一面に偏したことから、運動がダイナミックさを欠いたものとなっているという事実は大いに反省しなければならない。そして友愛運動は、友愛社会の建設を目差し政治・経済・文化その他あらゆる面にわたる社会問題に積極的に取り組み、その改革を求める行動的な青年の社会運動であることを改めて認識すべきである。

第二四回全国大会を控えて

新時代・新運動の幕明け

このように友愛運動を多角的に展開し、社会的諸問題に対し、真正面から対処して行く行動的な友愛を組織しなければならない。

これこそが友愛精神を基調に人間尊重と自由主義をうたった綱領を運動の旗印として友愛主義を学び実践して個の向上にさそられた全の進歩を目差す友愛の活動理念であり、本来の友愛運動の姿なのである。

価値観の多様な時代と言われ混迷している今こそ、友愛主義を学び行動によってそれを具現して行く青年が求められている時である。

今大会を、われわれの運動を社会にどう位置づけるか、さらに会相互の啓発向上に結びついているか、そして組織・機構は運動を発展させるものとなっているか等々の全般にわたって検討する大会とすべきであることを主張したい

大会日程

上野駅・東京駅で山手線・総武線・中央線にのりかえ新宿へ、そこから京王線で普通、または快速「京王多摩センター」行で京王よみうりランド駅で下車。会場まで徒歩で五分。

時刻	4月16日（土）	4月17日（日）
7時		分科委員会（2）
8		
9		
10	資格審査委員会	本会議（2）
10：30	大会運営委員会	
11：30	中央委受付	
12	昼食	閉会式
12：30	第40回中央委員会	記念パーティー
13	第24回全国大会受付	
14		
15	全国大会開会式	
15：30	本会議（1）	
16		
17		
17：30	食事等	
18		
19	分科委員会（1）	
20		
21	役員選考委員会	
22		

友愛婦人会創立二〇周年を迎える

友愛婦人会（鳩山薫会長）は、当日は、総会とあわせて式典並びに祝賀の懇親会を催します。多数の皆さんの参加をお待ちしております。

きたる四月七日（木）、文京区・茗渓会館で午後一二時半より、創立二〇周年記念式典を開催致します。

君も参加してみよう

AYC主催「第三回上級青年指導者養成コース」の参加者募集

期　日　一九七七年七月一日～一二日
場　所　シンガポール国立青少年指導者養成学院
経　費　滞在費は主催者側負担　渡航費は自己負担
研修内容　コミュニケーションの技術（文書等が高いので国内で使われている言葉が多岐にわたる国際会議を運動の旗印として友愛主義を学び実践して個の向上にさそられた全の進歩を目差す友愛の活動理念であり、本来の友愛運動の姿なのである。

価値観の多様な時代と言われ混迷している今こそ、友愛主義を学び行動によってそれを具現して行く青年が求められている時である。

今大会を、われわれの運動を社会にどう位置づけるか、さらに会相互の啓発向上に結びついているか、そして組織・機構は運動を発展させるものとなっているか等々の全般にわたって検討する大会とすべきであることを主張したい

締切　五月七日
主催　アジア地域青少年団体協議会（AYC）／シンガポール人民協会／フリードリッヒ・ノーマン財団

友愛

発行所
友愛青年連盟
東京都 文京区音羽1-7-1
電話 東京（941）2801
発行人　渡部文雄
編集人　田中恭一

綱領

一、われらは、自らの基盤にゆるぎなき社会の実現に邁進する。
一、われらは、民主主義の健全な発展のために、全体主義を排除し、日本の国民として公正な識見を確立する。
一、われらは、科学技術の振興と生産の増強をはかり健康で文化的な福祉国家の建設に邁進する。
一、われらは、全世界の人間的つながりのもとに国際連帯の意識を養いもって世界平和と人類の福祉に寄与する。

直言

◆先日、気象庁は全国的な春一番を予報した。今年も全国の同志諸君はいろいろな形で春一番に出あったことだろう。気象的な春一番は過ぎ去ったが私達の住む社会をみるとまだまだ春一番は残っている様に見える。政治・経済一つをとってみてもそれがうかがえるのだ……。

◆私は最近、本会の副会長の一人いわば友愛の重鎮である宮川三郎先生にあう機会を得た。〝先生来年は友愛も二五周年を迎えるに到りました〟〝私の様なおじいちゃんは藤先生が引退の時にやめさせてくれるのかと思っていたんだがなあ、年の開きがありすぎて、君、もうだめだよ〟と宮川先生はおっしゃられた。〝文体制に対して怨念や恨みを持って力で運動を持ってゆく様な団体とはちがい資の良い団体だからねえ〟私はその言葉の意味をかみしめたのである。

私が訪ねたその前に、ソ連タス通信の記者等数人が先生の所へ訪れた。そのお話が非常に興味をそそるので紹介したい。〝君達の国は（ソ連に対して）表通りはきれいだが裏通りはきたないとわかる様に、みせかけばかりを持ってくる。相手の美点だけをつき、弱点をお互いに補おいあうという外交はないじゃないか〟という事である。すべて素晴らしい友というのは美点だけいい合うのではなく、弱点をお互いにいいあえるのが親友ではないかなどつけ加えられたのである。まさに友愛精神そのものの下りを聞いた事になり私は一時、話の中で自分を問いただし恥ずかしたものであった。

◆協調と連帯は福田内閣のかかげたスローガンである。25年も前から友愛が訴えてきた事でもある今まさに、私達の住む社会に於て友愛の精神そのものがクローズ・アップされる時期であり、しかもそれをどうしてゆくのは私達同志諸君なのである。社会の出来事に対し私達（友愛）は背をむける事はゆるされないのだ。なぜならば、とどやれば吹きあれる春一番におしなべされてしまう弱点を持った人間のよりどころなのだから……。

三十四

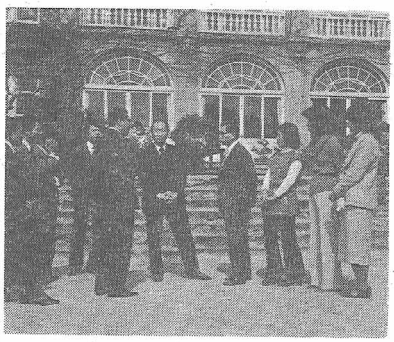
地方だより

嗚呼・花の使節団！

二二次東南アジア使節団交流会

二月二六日、東京大塚にある開拓会館にて第二二次東南アジア使節団（海野晋吾団長）の交流会を開きました。宴会の席で使節団からの記念としてタイの油絵を団長より岡本組織部長に手渡されました。使節団相談役の渡辺さん、香野さんはそれぞれ岐阜、福岡に支部を結成されることを発表され我々団員も相談役に負けないよう、今、以上に支部活動に取り組まなくてはと強く感じ会は盛り上がって行った。そして、団員の庄内支部百瀬さんの結婚……いい話ばかり。宴会も話がはずみ予定より一時間延長。次に宴をかえて歌声をあげながら旅行中の八ミリを上映し、まだ東南アジアを旅行しているような気分でした。

翌日、東京へ来ても音羽の本部に一度も立ち寄ったことのない人の為に、日曜日ではあったが誰もいない本部に出掛けることになった。行ってみると幸運なことに、誰もが期待していなかった鳩山威一郎外務大臣にお逢いすることが出来、気持ち良く対応して下さって心の片隅の緊張も解れ、先生のお人柄がうかがわれ、和やかな一時を過ごすことが出来ました。使節団の交流会の素敵な締めくくりとなりました。（樋口純子記）



鳩山外務大臣と懇談する第一二次東南アジア使節団々員

白銀の磐梯で滑べる

東京都連スキーツアー

東京都連（岡本省三会長）主催の友愛スキーツアーが二月二五日～二七日、磐梯友愛山荘において行われた。イレブンビーエムに上野駅集合、白銀の世界を夢にみながら、寝ている人を乗せ、バスは高速道路を一路猪苗代へと向う。六時半に山荘着、仮眠のあと朝食をすますと早い人は板を持ってゲレンデへ、スキーを借りる人は中で、靴を板に合わせてもらうのをいまか、いまかと待っている。午前、午後と二日滑り、中にはそれでも、滑りたらなくて、ナイターへと出かける人もいた。夜は他のホステラーも混じえてミーティングを山荘のヘルパーの人の指導にて行った。ベッドに入ると悟すごに寝てしまい、朝までぐっすり。起床の音楽にて初めて目をさます。今日は午前中だけしか滑れない。天気もいい。ゲレンデには リフトが動き出す前から、大勢のスキーヤーが出てきており、その様子が見える我々は滑るところがなくなりそうで、朝食もそこそこにゲレンデへと出る。

帰りのバスの中は、歌ったり、話をしたりで、なごやかな内に出発地点の上野着。二泊（車中一泊）の日程では、滑れる時間が限られてしまうが、充分に滑れたツアーであった。

集い各地で開催される！

地域社会に友愛を

友愛のある街づくり運動の一環として昭和五一年度より開始、展開された「地域社会を考える青年の集い」は若干の会合を残して大筋において完了した。初年度のために各開催地において多少、運営等に支障が出た所も存在したが、会員の一致団結にて乗り越え、また開催において各地域の各団体、行政機関などとも密接な提携を結んだ支部が多いので今後の支部活動において非常に有益であると考えられる。以下各開催地の報告である。

◆さる二月一九日、山形県庄内――又、献血推進委員等、一〇数名の参加を得、盛談会を開いた。

午後からは、本部より講師として派遣していただいた大塚利兵衛先氏、及び、地元高校教諭、松岡正樹氏のお二人から、記念講演をいただきました。当日は、あいにくの悪天候にて、参加人数が、少なかったものの、熱のある講演に、予定の時間帯を超過した。会員会員と、当日の参加の有志の方と、献血センターへ行き、献血をし、なごみになったセンター内の方や、看護婦さん達より、施設の案内を受け、充実した一日を終えました。（田口光子記）

◆二月二五日福島県西会津支部（上野誠喜支部長）では、地域社会を考える青年の集いを生活改善センターで開催した。

成蹊大学 教授臼 北行一氏により「西会津の青年の役割を考える」と題した講演と討論を行った。

薄明二氏、公民館長根本一氏、同主事斉藤久氏など、また同地域の野沢青年団、奥川青年会、西会津町商工会青年部、ヤングスクールの青年団体の多数も出席し、講演は過疎問題を中心に行われた。引き続き行われた討論会では、青年団体間の横のつながりを持った会議は始めてなのであり、今後は、連合して協議を行うと確認しあい、特に友愛のある街をつくるには、青年自身の行動により街づくりが始まるという点に結論が達した。

◆武生市では武生支部（尾山信行支部長）が、永杉喜輔氏を講師に二月二六日、同市中央公民館で開催、青年活動について講演と討議が行なわれた。永杉氏はその中で、団体の指導者は指導者である前に団員であれ、団員である前に生活者であれとし日常生活を大切にした活動を訴えた。

◆尾道市での「地域社会を考える青年の集い」は尾道支部（黒田勝孝支部長）の手で、二月二五日、尾道市公会堂別館で開催された。講師は、地元から元同市教育長・亀田やすたま氏、本部から群馬大学名誉教授・永杉喜輔氏で、両氏から教育について問題が提起された。

亀田氏は、現在の学校教育の問題点を教師、親、行政、人間関係に別けて指摘され、現場を指揮した人のみが知る理想と現実のギャップに対する苦脳を感じさせる講演であった。これを受けて永杉氏は、現在の教育状況は、敗戦により親が自信をなくせば教育は成り立たぬことを指摘された。

〝二重苦〟

三月六日に名古屋で行われた「地域社会を考える青年の集い」に出席するために都立大助教授倉沢進氏と松井広報部長の乗った、本来なら二二・〇〇分東京発新幹線「ひかり25号」であるが、異常寒波の雪のために遅れて出発。「出がけからイヤな予感がした」が、静岡を過ぎると自動的に列車が止まり、車内放送で「名古屋川の鉄橋に爆弾が仕掛けられた連絡があり、しばらく停車します」。運よく一〇位で発車、名古屋の会場についたのは開演の二時ジャスト「誠に車内の時間が長かった一日でした」

〝鳩山家NHKで放送〟

四月二日、午後一〇時放送のNHKドキメンタリー「鳩山家の家庭生活」が放送されます。

制作スタッフの話しでは「過去四代にわたって衆議院議長、内閣総理大臣、外務大臣、苦労代議士と政治家を輩出した〝家〟というものに焦点を当て構成している」との事で、NHKの関係者が毎日、音羽の事務所を訪ずれて、大変な騒ぎであります。

〝春一番〟

今春も友愛の会員の結婚ラッシュであります。

三月一九日、中央常任委員対馬義彦君・二六日、秋田支部柴田但健君と武藤加代子さんのカップル。

四月一〇日、国際部次長の村瀬弘行君と文京支部の深谷幾子さんこの他にも予備勢力が多数あるそうで、誠にもってためでとうございます。

どくとるジェール

回復せず

カゼをこじらせた西村夫氏は、完全に病床に服したので当分お休みさせて頂きます。

政変後の中国へ出発

三月一日、東京・羽田空港より世界青少年交流派遣の第一三次日・中青年学生交流日本代表団として本連盟より、岡村洋一君（東京都連）、和田厚子君（東京都連）が出発をした。

二日間に渡って中国各地の視察旅行をする。

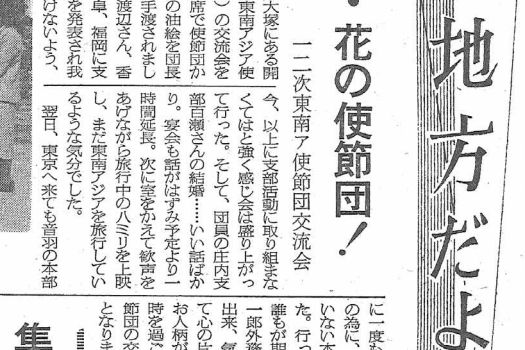
中央日誌

2/3 日本青年館解体式（於 明治神宮外苑）
7 友愛婦人会（於 鳩山会長邸はなれ）
9 友愛クラブ（於 ヒルトンホテル）
9 日独青少年交流事業会議（於 渋連会館）
11～12 第一回全国活動研究会（於 水元青年の家）
16 中青連委員会（於 鳩山会長邸はなれ）
19 地域社会を考える青年の集い（於 鶴岡市）
20 地域社会を考える青年の集い（於 秋田市）
21 アサンテサナ・ビハール中央推進委員会（於 霞山会館）
23 第一〇回中央常任委員会・執行部合同会議（於 本部事務所）
25 地域社会を考える青年の集い（於 尾道市）
25 地域社会を考える青年の集い（於 西会津町）
26 地域社会を考える青年の集い（於 武生市）
28 地域社会を考える青年の集い（於 那覇市）

友愛活動基金

岡村洋一 金一万円（東京都連）
和田厚子 金一万円（東京都連）

いんさつ・きかく
巧房仲村
〒359
所沢市北所沢町
2201―6
（0429）42―8575
東京営業所
（03）431―0717
ＡＰ企画内

安全は、人とクルマでつくるもの。

日産自動車
人とクルマの明日をめざす NISSAN

美しさに まごころこめて
メナード
化粧品
●メナードは美容社員が、あなたの現在までお届けします。

浅丘ルリ子
いま、目覚める たしかなうるおい

いつしか わたしは まだ見たこともない新しい世界に とまどいを感じていた。
白くまぶしい 神々の歴史をひもとくように長い沈黙が破れた。わたしは 私を忘れてしまいそう。いま はじめて目覚める たしかなうるおい メナード・エンタル。
Ental
メナードエンタル
●メナードエンタルグループ〈9点〉
TV提供〈家族そろって歌合戦〉毎週日曜1:15～2:25 TBSほか全国ネット